

Mini Disclosure 2025

大阪商工信用金庫
ミニディスクロージャー誌
[2025年3月期]



けろけろけろっぴは
大阪商工信用金庫の公式イメージキャラクターです
© 2025 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. L655936

ごあいさつ

皆さまには、平素より大阪商工信用金庫に格別のご愛顧をいただき、誠にありがとうございます。

2024年度における我が国経済は、賃金上昇を追い風にコロナ禍から脱却した個人消費が復調し、企業投資も堅調に推移したことによって緩やかな回復基調を維持しました。

また、二度にわたり日本銀行の政策金利引き上げが実施され、「金利のある世界」が進展するなど、金融政策にも大きな転換点が訪れました。

経済環境が変化する中で金融機関においては、お客さまの経営課題の把握と適切な支援が求められており、当金庫はお客さまへの金融支援および本業支援に注力してまいりました。事業性融資の積極推進により貸出先数を増加させたほか、脱炭素支援を始めとする「大阪商工ファインダーサービス」の提供により、融資に留まらないサポートを提供しております。引き続き「課題解決型金融機関」として、地域のお客さまの価値向上に向けて共生共助、共存共栄に邁進してまいりたいと思っております。

以上のような方針のもと、全役職員が業務に精励してまいりました結果、当期末の預金残高は738,654百万円と前期末比24,682百万円(3.4%)、貸出金残高は520,903百万円と同27,091百万円(5.4%)増加いたしました。

また、収益面におきましても本業の収益であるコア業務純益は5,904百万円と前期末比371百万円増加となりました。株式等売却損益1,341百万円を計上したほか、貸倒引当金の積み増しも行き最終の当期純利益は3,939百万円と前期末比494百万円の増加となりました。

なお、自己資本比率については、11.28%となりました。

2025年度の大阪経済は、大阪・関西万博の開催による大きな波及効果が期待される一方で、米中貿易摩擦を始めとする米国政策が世界経済に及ぼす下押し影響が懸念されます。当金庫におきましてはお客さまの環境の変化に応じた適時適切な課題解決を図り、お客さまの価値向上に努めてまいります。

皆さま方におかれましては、何卒倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。

2025年6月

理事長 多賀 隆一

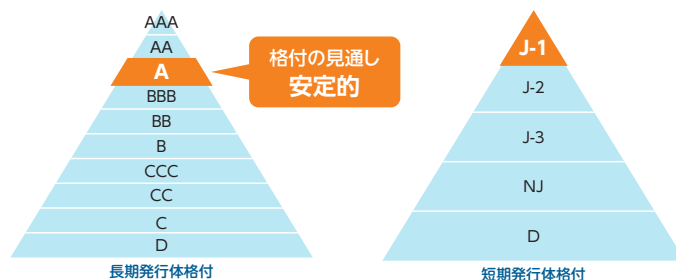
金庫概要 (2025年3月末現在)

商号	大阪商工信用金庫
本店所在地	〒541-0053 大阪市中央区本町2丁目2番8号 TEL：06-6267-1636（代）
店舗数	大阪市内：14ヶ店／大阪府下：7ヶ店
創業	1929年5月
改組	1951年10月
代表者	理事長 多賀 隆一（タガ リュウイチ）

出資金	70億98百万円
自己資本額	560億42百万円
預金高	7,386億円
貸出金	5,209億円
役職員数	421名＜男235名：女186名＞
業務内容	預金業務、融資業務、為替業務、代理貸付業務などの信用金庫法に基づく代理業務。

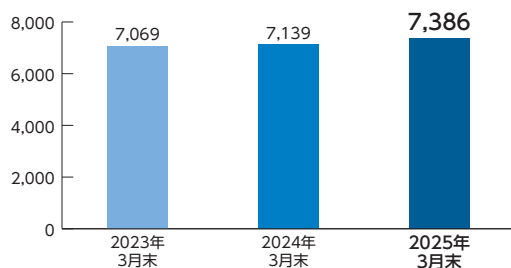
大阪商工信用金庫は、 長期発行体格付「A-」、短期発行体格付「J-1」とJCRから高い評価を得ています

当金庫は格付機関である日本格付研究所（JCR）から2025年3月5日付で、長期発行体格付として「A-」（シングルAマイナス）、および短期発行体格付として「J-1」の格付を取得しました。当金庫の長年にわたる堅実、健全な経営が高く評価されています。

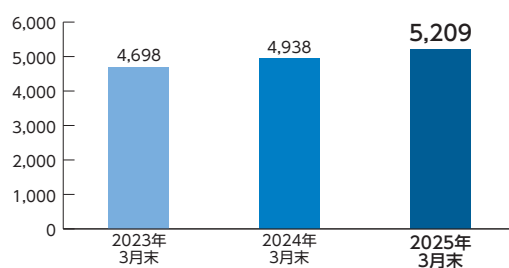


決算ハイライト・地域経済への貢献

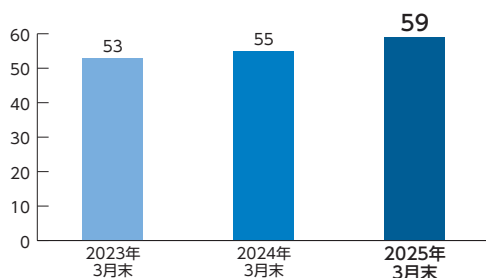
■ 預金残高 (単位:億円)



■ 貸出金残高 (単位:億円)

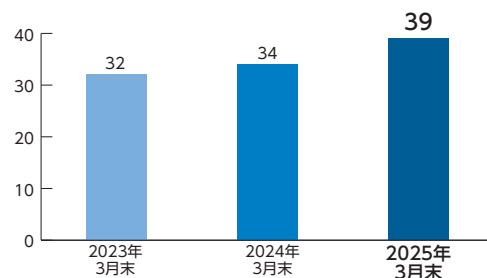


■ コア業務純益 (単位:億円)

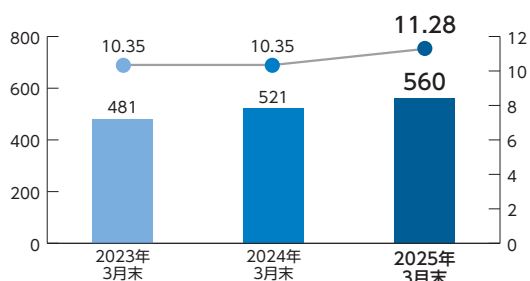


※ 貸出業務等、金融機関の本来の収益力を指します。

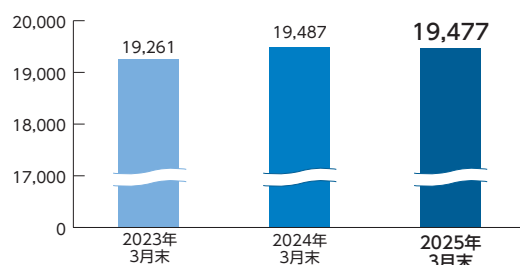
■ 当期純利益 (単位:億円)



■ 自己資本額・比率 自己資本額(億円)・自己資本比率(%)



■ 出資会員数 (人)



■ 歴史

1929年の創業以来、一度も他金庫との合併に踏み切らず、堅実経営を続けてきた確かな歴史があります。

96年

■ 配当

経営成果を地域に還元しております。

年2%

■ 預貸率

お預かりしたご預金に対する貸出の割合です。全国平均を大きく上回る高い水準を維持し、積極的な貸出を行い地域に貢献しております。

70.5%

■ 不良債権比率

貸出に対する不良(返済困難・返済不能等)の割合です。

3.63%

「大阪商工ファイnderサービス」 (本業支援)

外部専門家や企業との連携・マッチングにより、お客さまの経営課題解決を図るためのサポートを行います。事業性融資という資金面のご支援だけでなく、事業そのものに関連するお悩みを解決してまいります。



● 本業支援活動の実例 ご利用いただいたお客さまの実例をご紹介します。

事例① 《経費削減サポート》 A社(不動産業)



テナント業を営んでいるA社は、建物内のメンテナンス、特にエレベーターの保守・点検にコストがかかり負担感が増していました。そこで当金庫からエレベーター保守の専門会社を紹介。メーカー系より費用も少なくコスト軽減を実現しました。

事例② 《人材紹介》 B社(小売業)



飲食店、コンビニエンスストアを営んでいるB社は、恒常的に現場の人材不足に悩んでいました。そこで当金庫は外国人雇用に豊富な実績と情報量を保有する提携先を紹介。結果、B社は外国人スタッフを採用したことで人材不足が解消されました。

事例③ 《助成金・補助金》 C社(製造業)



金型の製作・設計を行っているC社は、近年のエネルギー価格高騰から高効率な設備への切替を検討していました。そこで当金庫は補助金申請支援を行っている提携先を紹介。無事、補助金申請は採択され、設備入替による省エネ化でコストカットを実現しました。

事例④ 《デジタルトランスフォーメーション(DX)》 D社(卸売業)



衣料品卸売を営んでいるD社は、売上増を目指して販路拡大を模索していました。そこで当金庫よりビジネスマッチングサイトを運営する提携先企業を紹介。WEBサイトに登録したところ4社と商談成立し販路拡大ができました。D社は新たな取引先ができたことで売上増を実現しました。

事例⑤ 《事業承継・M&A》 E社(製造業)



創業より65年間、社内一貫でガラスの切断から研磨、アルミの成膜までを手掛けている売手E社のM&Aが成約しました。買手はガラス製品の製造に携わっている老舗会社F社であり、M&Aマッチングサイトと連携した事例です。買手社長から「日本の中小製造業を残していかなければならない」という熱い思いを語っていただき、E社の希望条件であった従業員の雇用も無事に守られました。

脱炭素社会実現に向けた取組

2024年度

大阪脱炭素ビジネスコンテスト2025を開催しました

2050年カーボンニュートラル実現に向け、中小企業には脱炭素に資する新ビジネスの創出や脱炭素経営、商品開発等が求められています。こうした先導的な取り組みをコンテスト形式で顕彰することにより、大阪全体の脱炭素の取り組みを推進しています。2025年1月27日に10社のファイナリストによる公開プレゼンテーション審査を開催しました。



「第4回 脱炭素経営EXPO関西」の特別講演に登壇しました

2024年11月21日に開催された「第4回 脱炭素経営EXPO関西」の特別講演に、理事長の多賀隆一が登壇しました。「中小企業に求められる脱炭素経営」と題し、中小事業者の皆さまに向けて講演を行いました。脱炭素経営が企業の成長戦略になり得るチャンスであることを説明し、取り組みステップについて具体的にお話しました。



2025年度

「EXPO 2025 大阪・関西万博」に出展しました

出展場所 大阪ヘルスケアパビリオン リボーンチャレンジゾーン

テーマ

Rethink

まちからはじまる、脱炭素への取り組み
まちと社会、これからの暮らし

出展期間 2025年5月13日～5月19日

大阪の中小・スタートアップ企業8社による、未来の脱炭素の取り組みを展示。多くの来場者に脱炭素の可能性を知ってもらう機会となりました。



理事長視察の様子

地域とのより一層の繋がりを

出前授業

大阪府教育庁の「おおさか元気広場（放課後子ども教室）」事業の一環で、門真市立門真小学校にて出前授業を行いました。お金のクイズや札勘等、ゲーム形式で楽しみながら学んでもらいました。



SDGs授業

大阪府教育庁の「わくわく・どきどきSDGsジュニアプロジェクト」事業への協力として、八尾市立曙川中学校に訪問し、生徒たちが考えたSDGsへのアプローチプレゼンテーションへのフィードバックを行いました。



大阪商工

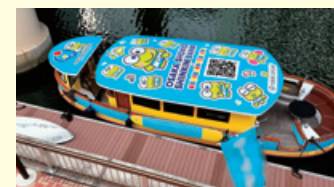


「大阪商工×けろけろけろっぴ」バス

当金庫本店所在地である「繊維のまち、船場」が持つ魅力を多くの方に伝えるとともに、インパクトのあるデザインによりこのバスが大阪にとって活気と幸せを運ぶシンボリックな存在の一つになって欲しいという思いから、地域に根差した運行会社である大阪バス株式会社とコラボした「大阪商工×けろけろけろっぴ」フルラッピングバスを企画しました。

遊覧船へのラッピング

大阪市内最古の現役橋「本町橋」のすぐもとにある「β本町橋」から発着し、道頓堀ルートを運航する「Aarde Leuk号（アールデ・ルーク）」に当金庫イメージキャラクターのけろけろけろっぴデザインをラッピングしました。同遊覧船は、大阪で長年まちづくりに貢献されている地元へ根付いた企業であるスギタグループ株式会社が運営しています。



商工オーナーズクラブ

会員相互の親睦を図るとともに、金融知識の向上を図ることを目的に、毎年、総会1回、例会2回、セミナー3回を実施しています。会員数545名（544社）で35年間継続しています。

【活動実績】

- 2024年5月14日……同志社大学特別教授の兼原 信克氏をお招きし「激動の国際情勢～中台危機、中東紛争に備える日本～」をご講演いただきました。
- 2024年9月19日……政治評論家の田崎 史郎氏をお招きし「今後の政治経済をどう読むか」をご講演いただきました。
- 2025年1月16日……慶應義塾大学名誉教授、元国務大臣の竹中 平蔵氏をお招きし「これからの日本経済と改革のゆくえ」をご講演いただきました。

【オーナーズクラブ会場】リーガロイヤルホテル大阪



竹中 平蔵氏



田崎 史郎氏

小学校
中学校

商業
施設

警察署

中小
企業

大阪中之島
美術館

小学生向けマネースクール

小学4年生を対象に、お金の役割や金融機関の仕事を楽しく学び、「働くこと」への理解を深めていただく「マネースクール」を2012年から開催しています。新入職員が講師役として子どもたちにお金の大切さを伝えています。



Shokoグリーンマルシェ

今までのShokoマルシェに【脱炭素】を新たなテーマとして加えたShokoグリーンマルシェを2024年11月9日に花園中央公園にて開催しました。2025年 大阪・関西万博の大阪パビリオンにて出展する企業が脱炭素に資する技術の展示体験を行ったり、大阪商工信金社会貢献賞受賞団体が個人でも取り組める脱炭素活動を啓発しました。



振込詐欺防止

当金庫では、特殊詐欺をはじめとする犯罪被害を未然に防ぐため、積極的に被害防止活動に取り組んでおります。2024年度は、阿倍野支店・高井田支店・鴻池支店の3ヶ店が詐欺被害を未然に防ぐことができたとして、警察署より感謝状を拝受いたしました。今後ともお客さまへの積極的な声かけを行うことで、詐欺被害の未然防止に努めてまいります。



醍醐寺展への協賛

日本の文化を向上させていくことも、信用金庫の地域に根差した社会貢献と捉え、当金庫では、2024年6月15日から大阪中之島美術館で開催された日本経済新聞社・大阪テレビほか主催の「醍醐寺展」に社会貢献活動の一環として協賛しました。大阪では初めてとなる醍醐寺の名宝展を支援することで、愛好する人たちだけでなく、あらゆる層の皆さまに日本の文化を堪能していただき豊かで平和な社会の維持と文化の継承に貢献します。



第96期 貸借対照表

2025年3月31日現在

(単位:百万円)

科 目	資 産	金 額
(資産の部)		
現金		7,804
預け金		109,962
有価証券		149,542
国債		22,736
地方債		4,861
短期社債		—
社債		36,467
株式		10,583
その他の証券		74,893
貸出金		520,903
割引手形		722
手形貸付		67,158
証書貸付		452,202
当座貸越		820
その他資産		3,809
未決済為替貸		188
信金中金出資金		2,649
前払費用		80
未収収益		450
その他の資産		439
有形固定資産		11,865
建物		5,688
土地		5,786
リース資産		11
その他の有形固定資産		379
無形固定資産		283
ソフトウェア		275
のれん		—
リース資産		—
その他の無形固定資産		7
前払年金費用		206
繰延税金資産		303
再評価に係る繰延税金資産		—
債務保証見返		537
貸倒引当金		△ 5,988
(うち個別貸倒引当金)		(△ 4,175)
資産の部合計		799,229

(単位:百万円)

負債及び純資産		金 額
科 目		
(負債の部)		
預金積金		738,654
当座預金		24,567
普通預金		135,970
貯蓄預金		78
通知預金		51,130
定期預金		518,729
定期積金		5,888
その他の預金		2,288
借入金		—
借入金		—
その他負債		4,251
未決済為替借		170
未払費用		1,429
給付補填備金		3
未払法人税等		1,524
前受収益		546
払戻未済金		56
払戻未済持分		0
職員預り金		—
リース債務		12
資産除去債務		93
その他の負債		415
賞与引当金		332
役員賞与引当金		—
退職給付引当金		—
役員退職慰労引当金		234
睡眠預金払戻損失引当金		19
偶発損失引当金		62
繰延税金負債		—
再評価に係る繰延税金負債		105
債務保証		537
負債の部合計		744,198
(純資産の部)		
出資金		7,098
普通出資金		7,098
利益剰余金		47,922
利益準備金		6,901
その他利益剰余金		41,021
特別積立金		26,000
当期末処分剰余金		15,021
処分未済持分		△ 162
自己優先出資		—
会員勘定合計		54,858
その他有価証券評価差額金		239
繰延ヘッジ損益		—
土地再評価差額金		△ 65
評価・換算差額等合計		173
純資産の部合計		55,031
負債及び純資産の部合計		799,229

第96期 損益計算書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	金 額	
経常収益		16,577,729
資金運用収益	13,528,251	
貸出金利息	11,041,618	
預け金利息	381,613	
買入手形利息	—	
コールローン利息	5,446	
買現先利息	—	
債券貸借取引受入利息	—	
有価証券利息配当金	2,058,631	
金利スワップ受入利息	—	
その他の受入利息	40,942	
役務取引等収益	881,588	
受入為替手数料	234,448	
その他の役務収益	647,139	
その他業務収益	21,937	
外国為替売買益	—	
商品有価証券売買益	—	
国債等債券売却益	1,000	
国債等債券償還益	5,900	
金融派生商品収益	—	
その他の業務収益	15,037	
その他経常収益	2,145,952	
貸倒引当金戻入益	—	
償却債権取立益	1,189	
株式等売却益	2,056,381	
金銭の信託運用益	—	
その他の経常収益	88,380	
経常費用		10,342,965
資金調達費用	1,927,157	
預金利息	1,925,129	
給付補填備金繰入額	2,028	
譲渡性預金利息	—	
借入金利息	—	
売渡手形利息	—	
コールマネー利息	—	
売現先利息	—	
債券貸借取引支払利息	—	
コマースナル・ペーパー利息	—	
金利スワップ支払利息	—	
その他の支払利息	—	
役務取引等費用	128,293	
支払為替手数料	55,471	
その他の役務費用	72,821	
その他業務費用	416,254	
外国為替売買損	—	
商品有価証券売買損	—	
国債等債券売却損	413,022	
国債等債券償還損	1,326	
国債等債券償却	—	
金融派生商品費用	—	
その他の業務費用	1,904	
経費	6,569,261	
人件費	3,609,065	
物件費	2,624,090	
税金	336,105	
その他経常費用	1,301,998	
貸倒引当金繰入額	459,950	
貸出金償却	1	
株式等償却	714,505	
金銭の信託運用損	—	
その他資産償却	—	
その他の経常費用	127,540	
経常利益		6,234,764
特別利益		—
固定資産処分益	—	
負ののれん発生益	—	
金融商品取引責任準備金取崩額	—	
その他の特別利益	—	
特別損失		0
固定資産処分損	0	
減損損失	—	
金融商品取引責任準備金繰入額	—	
その他の特別損失	—	
税引前当期純利益		6,234,764
法人税、住民税及び事業税	1,698,998	
法人税等調整額	595,802	
法人税等合計		2,294,801
当期純利益		3,939,962
繰越金(当期末残高)		11,081,129
土地再評価差額金取崩額		—
当期末処分剰余金		15,021,091

第96期 剰余金処分計算書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額
当期末処分剰余金	15,021,091,876
科 目	金 額
剰余金処分額	335,472,855
利益準備金	196,912,000
普通出資に対する配当金(年2%)	138,560,855
繰越金(当期末残高)	14,685,619,021

※ 信用金庫法第38条の2第3項の規定に基づき、有限責任あずさ監査法人の監査を受けた結果、2025年3月期の貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分計算書について適正に表示されているとの監査報告をいただいております。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。